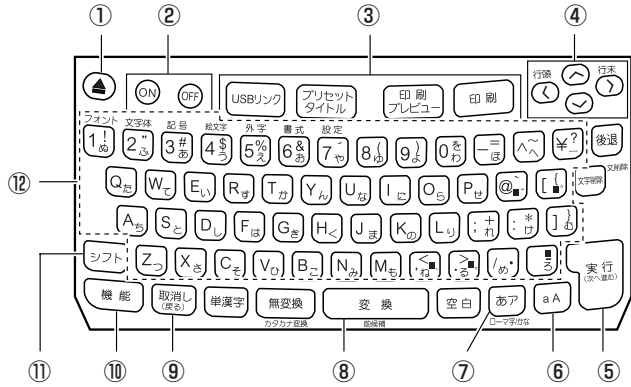


キーのはたらき

ここではキーの主な使いかたについて説明します。

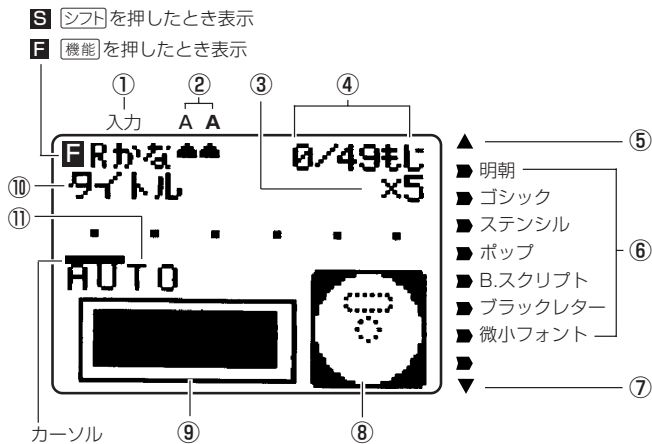


①	ディスプレイを開けるときに押す。
②	電源を切るときは \odot を、入れるときは \ominus を押す。
③	それぞれの「機能」を使うときに押す。
④	<ul style="list-style-type: none"> 文字が入る位置を示した_や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押す。 項目などを選択するときに押す。
⑤	操作を進めるときに押す。
⑥	アルファベットの大文字と小文字を使い分けるときに押す。(34ページ)
⑦	<ul style="list-style-type: none"> ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。(34ページ) 「機能」を押した後このキーを押すと、ローマ字入力とかな入力を切り換えることができる。
⑧	<ul style="list-style-type: none"> ひらがなを漢字などに変換するときに押す。 「機能」を押した後このキーを押すと、1つ前の変換に戻る(前候補)。
⑨	操作を戻したり、中止したりするときに押す。
⑩	キーの下、上または横に「機能」と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
⑪	<ul style="list-style-type: none"> かな入力するとき、「っ」や「よ」などの促音・拗音を入れる場合に押す。(36ページ) アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字(または小文字)を入れる場合に押す。(39ページ)
⑫	文字を入れるときに押す。(文字キー)

文字入力編
キーのはたらき

画面の見かた

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。



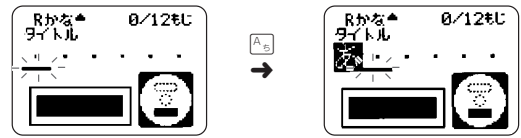
①	入れることのできる文字の種類を示す。(34ページ)
②	文字体が何になっているかを示す。(59ページ)
③	オートフォーマットを選択したとき、文字のサイズ(倍率)を示す。(54ページ)
④	選択した項目に最大何文字入るか、また現在何文字入っているかを示す。
⑤	いま見えている画面より上にも項目などがあることを示す。
⑥	書体(フォント)が何になっているかを示す。(57、81ページ)
⑦	いま見えている画面より下にも項目などがあることを示す。
⑧	作成中のレーベルがディスクのどこに入るかを示す。(印刷パターン)
⑨	作っているレーベルのフォーマットを示す。(92ページ)
⑩	入力中の項目名を示す。
⑪	オートフォーマットが選択されていることを示す。(54ページ)

文字入力編
画面の見かた
カーソルののはたらきと動かしかた

カーソルのはたらきと動かしかた

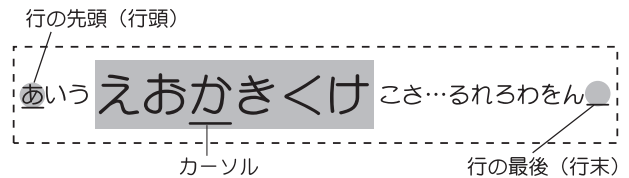
画面上で点滅している_をカーソルといいます。カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。



カーソルの動かしかた

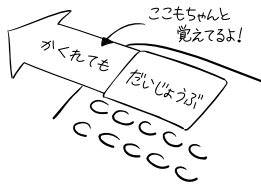
カーソルは \odot \odot を押して動かしします。



\odot	左にカーソルが移動する	機能 \odot	行の先頭にカーソルが移動する
\odot	右にカーソルが移動する	機能 \odot	行の最後にカーソルが移動する

スクロールとは

画面にかくれている文字を見るためには、**⊙**を押して、かくれている部分にカーソルを動かします。これを**スクロール**といいます。
 (⊙を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。)

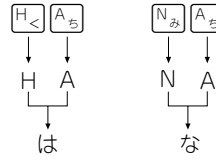


ローマ字入力? それともかな入力?

キーを押して文字を画面にあらわすことを、**入力**といいます。文字を入れる方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

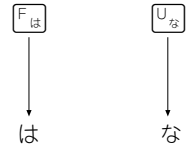
ローマ字入力とは…

アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入れる方法です。



かな入力とは…

直接ひらがななどを入力する方法です。



購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をしたあとでは、ローマ字入力状態で文字を入れる状態になっています。

ローマ字入力とかな入力を切り換える



- 「ab」「AB」が画面左上に表示されているときは、まず**あア**を押して、「Rかな」または「かな」を表示させます。
- 機能** **?** と押して切り換えることもできます(79ページ)。

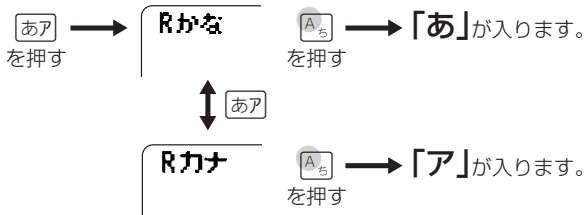
文字入力編
 ローマ字入力? それともかな入力?
 カリソールのたらしきと動かしかた?

文字キーの使いかた

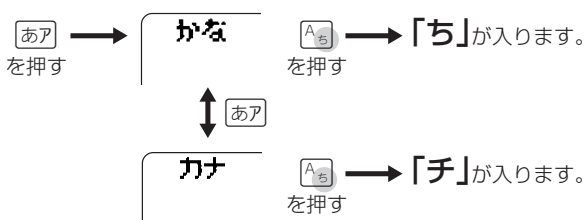
文字キーは、1つで数種類の文字が入力できるようになっています。**あア**や**aA**を押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り換えます。ここでは**あア**を例にとって、説明します。

ひらがな・カタカナを入れる

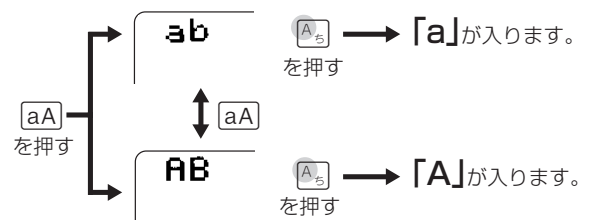
■ローマ字入力の場合



■かな入力の場合



アルファベット(大文字・小文字)を入れる



文字入力編
 文字キーの使いかた

ひらがな・カタカナを入れる

ここでは、ひらがなとカタカナの入力のしかたを説明します。(変換・確定については「まとめ」(39ページ)をご覧ください。)

ここではローマ字入力で説明します。

ひらがなを入れる

【例】 さくら

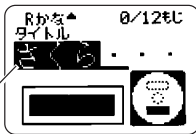
1 **[あ]**を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。

- かな入力のときは、「かな」を表示させます。(34ページ)



2 **[s]** **[a]** **[k]** **[u]** **[r]** **[a]**と押します。

- かな入力のときは、**[x]** **[f]** **[o]**と押します。



ひらがなを入力している最中は、**[]**が文字に重なっています

3 **[無変換]**または**[実行]**を押します。「さくら」が確定します。

- 「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

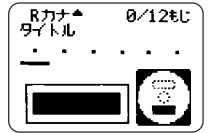


カタカナを入れる

【例】 サクラ

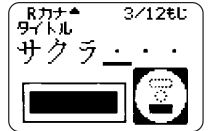
1 **[あ]**を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。

- かな入力のときは、「カナ」を表示させます。(34ページ)



2 **[s]** **[a]** **[k]** **[u]** **[r]** **[a]**と押します。

- かな入力のときは、**[x]** **[f]** **[o]**と押します。



カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する(カタカナ変換)

例 サクラ

- ひらがなで「さくら」と入力します。
- [さくら]**となっているときに、**[機能]** **[無変換]**と押します。**[さくら]**が「サク」に確定されます。

いろいろな文字の入れかた

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	[i] [t] [t] [a]	[e] シフト [z] [o] *
拗音	きょう	[k] [y] [o] [u]	[g] シフト [y] [4] *
濁音	ぼく	[b] [o] [k] [u]	[b] [o] [k] [u]
半濁音	ぱぱ	[p] [a] [p] [a]	[f] [a] [f] [a]
句点	。	[.]	シフト [.]
読点	,	[,]	シフト [,]
長音	ー	[_]	[_]
中点	・	シフト [.]	シフト [.]
を		[w] [o]	シフト [o]
ん		[n] [n]	[y]
ヴ		「Rカナ」表示のときに [v] [u]	[4] [u]
カ		[x] [k] [a] または [k] シフト [a]	シフト [t]
ケ		[x] [k] [e] または [k] シフト [e]	シフト [k]
空白		[]	[]

* **[シフト]** を押したあとに文字キーを押すと小文字(促音・拗音)になりますが、つやゆあいう など促音・拗音にすることができる文字に限りです。

- ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」(88ページ)をご覧ください。

漢字を入れる

漢字を入れるには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します(例: 「花」→「はな」)。

ひらがなから漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、**[実行]**を押して、ほかの文字に変わらないように**確定**します。

ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

- 文章を入力してから**変換**する
- 同音異義語を変換する(例: 公園、後援など)
- 漢字1文字分ずつ**変換**する(当て字やむずかしい固有名詞などの変換)

文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。まとめて変換できる文字数は、32文字までです。

【例】 今日行きます

1 「きょういきます」をひらがなで入力します。



2 **[変換]**を押します。

「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。



「境域」に下線がついています

3 **[]**を2回押します。

「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。

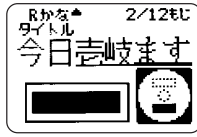


「今日」に変換されます

4 **実行**を押します。
「今日」が確定されます。
「いき」と「ます」という2つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「壹岐」に変換されます



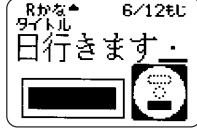
5 **変換**を2回押します。
「いき・ます」を「いきます」という言葉にするためです。



6 **変換**を何回か押して、「行きます」にします。
変換を押すたびに、「いきます」に当てはまる言葉が次々と表示されます。



7 「行きます」が表示されたら、**実行**を押します。
「行きます」が確定されます。



カーソルと下線の違い

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときにつく下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

- 下線がついているときに**取消し**を押すと、「よみ」の状態に戻ります。



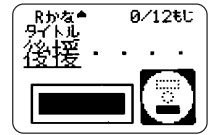
「よみ」を入れて**変換**を押しても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう。(38ページ)

同音異義語を変換する

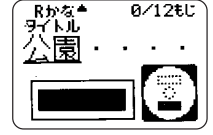
複数の漢字が当てはまる「よみ」(同音異義語)を変換する方法を説明します。

【例】公園

1 「こうえん」と入力し、**変換**を押します。
「こうえん」に合った漢字の候補が表示されます。



2 **変換**を何回か押して、「公園」にします。
変換を押すたびに、「こうえん」に当てはまる言葉が次々と表示されます。



3 「公園」になったら、**実行**を押します。
「公園」が確定されます。



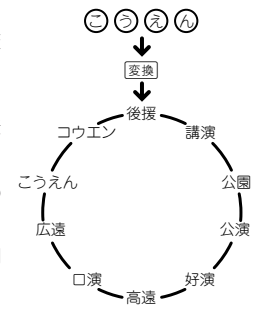
変換のルール

まず**変換**を押して、ひらがなを漢字に変換します。

変換または \odot を押すと、次の漢字が表示されます。

機能変換または \triangle を押すと、1つ前の漢字が表示されます(前候補)。

※ 変換候補の順番は、本機の「学習機能」(39ページ)によって変わります。



漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換)

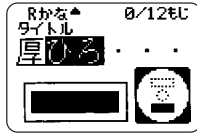
当て字やむずかしい固有名詞などを変換するときは、1文字ずつ目的の漢字に変換します。

【例】敦廣(あつひろ)

1 「あつひろ」をひらがなで入力します。



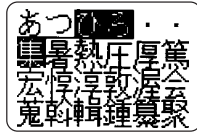
2 **変換**を何回か押します。



何回押しても、「敦」に変換されません

3 **単漢字**を押します。

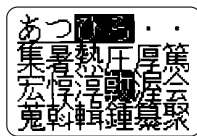
- もう一度**単漢字**を押すと、「あ」に当てはまる漢字が表示されます。もう一度**単漢字**を押すと、「あつ」に当てはまる漢字が表示されます。



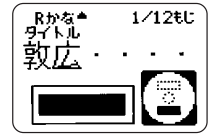
「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます

4 \odot を押して、「敦」を表示します。

5 \odot を押して、「敦」にします。

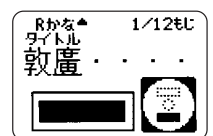


6 **実行**を押します。
「敦」が確定されます。



「広」に下線がつきます

7 **変換**を何回か押して、「廣」にします。
・ **単漢字**を押して「廣」を探すこともできます。



8 「廣」になっていることを確かめて、**実行**を押します。
「廣」が確定されます。

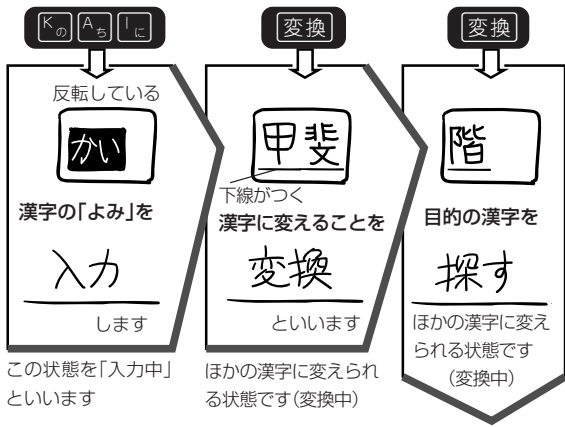


思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

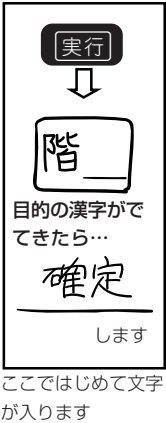
次のようなことが考えられます。

- 「週(しゅう)」を「しゅう」と入力している
 - 「図(ず)」を「づ」と入力している
 - 「通り(とおり)」を「とうり」と入力している
 - 「販促(はんそく)」 「英検(えいけん)」など、略語の読みを入力している
- 拗音・促音、「ず」と「づ」、「じ」と「ぢ」、「お」と「う」の入力には特に注意してください。

まとめ...



本機は学習しています
 「かい」という読みを「階」で確定したとします。次回「かい」という読みで変換すると、「階」が一番はじめて表示されます。これは、前回使った漢字を本機が覚えているためです。このように、前回使った漢字を最初に表示することを**学習機能**といいます。



ここではじめて文字が入ります

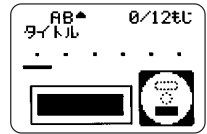
アルファベットや数字を入れる

アルファベット、数字の入れかたを説明します。

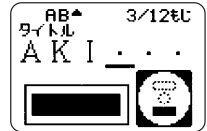
アルファベットの大文字を入れる

[例] AKI

1 [aA]を何回か押して、画面の左上に「A B」を表示させます。



2 [A B] [K O] [I E]と押します。アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。



、(カンマ) . (ピリオド)を入れるには画面の左上に「A B」または「a b」と表示されているときに、次のキーを押します。

カンマ: [,] ピリオド: [.]

大文字と小文字がまざった文章を簡単に入れるには「A B」表示のとき [シフト]を押してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります。

例 TAKESHI's

「a b」表示のとき [シフト]を押してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。

例 English

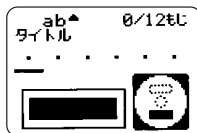
ひらがなを入力するときは、[あア]を何回か押して、画面の左上に「Rかな」(または「かな」)を表示させます。

文字入力編
 アルファベットや数字を入れる

アルファベットの小さい文字を入れる

[例] aki

1 [aA]を何回か押して、画面の左上に「a b」を表示させます。



2 [A B] [K O] [I E]と押します。アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。



数字を入れる

[例] 123

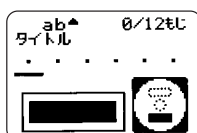
ローマ字入力するとき

1 [1] [2] [3]と押します。数字は、ひらがな・カタカナ・アルファベットなど、どの入力中でも使えます。



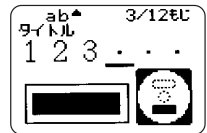
かな入力するとき

1 [aA]を押して、画面の左上に「a b」または「A B」を表示させます。



文字入力編
 アルファベットや数字を入れる

2 [1] [2] [3]と押します。



記号を入れる

ふつうの文字のほかに、いろいろな記号を入れることができます。

キーに記されている記号

①キーの左に印刷された記号

②キーの右上に印刷された記号

■ローマ字入力の場合

- ① **[:]** → 「:」が入ります。
- ② **[*]** → 「*」が入ります。

■かな入力の場合

- ① **[ab]** → **[:]** → 「:」が入ります。
または **[AB]**
- ② **[aA]** → **[*]** → 「*」が入ります。
または **[AB]**

その他の記号

ゑ ♂ ♀ 注 ⑫ など

記号は「記述・カッコ」「学術」「単位・略」「一般」「数字」「ギリシア・ロシア」の6つのグループに分かれています。90ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

【例】 **[☎]** (グループ=単位・略)

- 1 **[機能]** **[3あ]** と押します。
記号のグループ名
- 2 **[△]****[▽]****[◁]****[▷]** を押して**[単位]**にし、**[実行]**を押します。
- 3 **[△]****[▽]** を押して**[☎]**を探します。
- 4 **[◁]****[▷]** を押して**[☎]**にし、**[実行]**を押します。

文字入力編
記号を入れる

絵文字を入れる

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は20のグループに分かれています。

90～92ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。また、文字体の指定は無効です。

【例】 **[🍰]** (グループ=食べ物)

- 1 **[機能]** **[4絵]** と押します。
絵文字のグループ名
- 2 **[△]****[▽]****[◁]****[▷]** を押して**[食べ物]**にし、**[実行]**を押します。
- 3 **[△]****[▽]** を押して**[🍰]**を探します。
- 4 **[◁]****[▷]** を押して**[🍰]**にし、**[実行]**を押します。

文字入力編
絵文字を修正・削除するとき

文字を修正・削除するとき

文字を間違えて入力したときのなおしかたと、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。

- 間違った文字を消す
1文字ずつ消す
- すべての文字を消す
- 間違った文字をなおす
間違った文字を消して正しい文字を入力する(挿入)

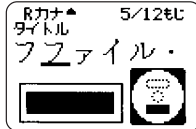
間違った文字の上に正しい文字を入力する(上書き)
- 文字が抜けていたら
正しい文字を追加する

間違った文字を消す

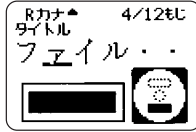
■文字を1文字ずつ消す(カーソルの上の文字を消す)

[例] 「フファイル」の「フ」を消して、「ファイル」になおす

1 ⊙⊙を何回か押して、「フ」にカーソルを合わせます。



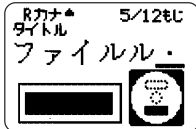
2 [文字削除]を押します。「ファイル」になります。



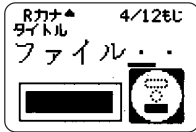
■文字を1文字ずつ消す(カーソルの前の文字を消す)

[例] 「ファイルル」の最後の「ル」を消して、「ファイル」になおす

1 消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。



2 [後退]を押します。「ファイル」になります。



確定前に文字を消すには…

ふふあいるなど、文字に \blacksquare が重なっているとき(確定前)に文字を消すときも、[文字削除]または[後退]を押して消します。

また、[取消]を押すと、 \blacksquare が重なっている文字がぜんぶ消えます。

確定→39ページ

項目内の全ての文字を消す(文削除)

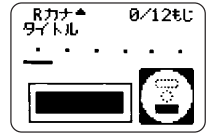
入力中の項目の文章を全て消します。

1 [機能] [文削除]と押します。



2 [実行]を押します。

画面にあった文字はすべて消えます



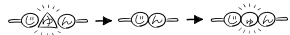
・文削除をやめるときは、[取消]を押します。

間違った文字をなおす

間違った文字をなおす方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

挿入

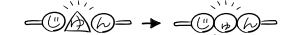
文字と文字の間に新しい文字を追加して入力することができます。



間違った文字を消してから正しい文字を入力します(その逆でも可)。

上書き

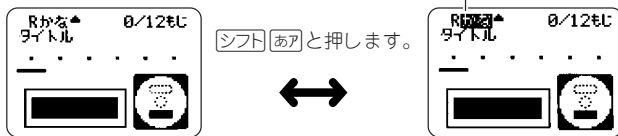
画面に表示されている文字を新しい文字に入れ替えることができます。



間違った文字の上に正しい文字を入力します。

本機は、前回使っていたときの状態を保持しています。

■「上書き」にするとき



挿入

上書き

もう一度[シフト] [あ]と押すと、「挿入」状態に戻ります。

「設定」で切り換えるには

[機能] [設定]と押して「挿入」と「上書き」を切り換えることもできます。詳しくは78ページをご覧ください。

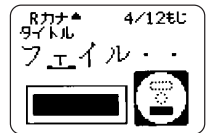
文字を入れるときは

「上書き」のときは、入力済みの文字が消されて新たな文字に入れ替わります。間違っても必要な文字を入れ替えることのないように、文字を入力するときは「挿入」にすることをおすすめします。

[例] 「フェイル」を「ファイル」になおす

■間違った文字を消して正しい文字を入れる(「挿入」状態)

1 ⊙⊙を押して「エ」にカーソルを合わせます。



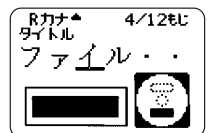
2 [文字削除]を押します。

「エ」が削除され、「イ」が「エ」の位置に移動します。

3 「ア」を入力します。

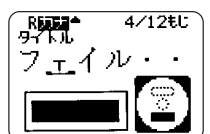
・「ア」は[シフト] [あ]で入力します。

「ア」が「イ」の前に入ります



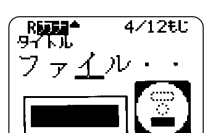
■間違った文字の上に正しい文字を入れる(「上書き」状態)

1 ⊙⊙を押して「エ」にカーソルを合わせます。



2 「ア」を入力します。

「エ」が「ア」になります



文字が抜けていたら…

「挿入」状態のときには、文字を追加することができます。(挿入→44ページ)

【例】 「デタ」を「データ」にする

- 1 ◁▷を押して、「タ」にカーソルを合わせます。
「タ」の前に文字を入れるためです。



- 2 「ー」(長音)を入力します。



「タ」の前に「ー」が入り、「データ」になります

確定前に文字をなおしたり追加するには…

ふえているなど、文字に■が重なっているとき(確定前)に文字をなおしたり追加するときも上と同じ操作でなおします。 **確定→39ページ**

「上書き」で文字をなおすときは

なおす文字数に注意してください。なおす文字数よりも多く入力してしまうと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまいます。

オリジナルの文字を作る

|や||などのように、本機にない文字や記号を自分で作ることができます(外字)。4つまで本機の中に登録(記憶)しておくことができます。

外字を作る方法には、次の2つがあります。

- ①はじめから自分で作る(新規作成)
…まったくオリジナルな外字を作るとき
- ②本機の中にある文字を利用して作る(参照作成)
…||や+のように、既存の文字が利用できるとき

はじめから自分で作る(新規作成)

【例】 ||

- 1 [機能] [5]と押します。



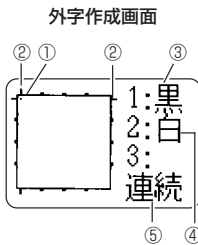
- 2 ◁▷◁▷を押して「作成」にし、[実行]を押します。

- 3 新規作成になっていることを確認します。

- [機能] [5]を押す前の画面に何も文字がなかったり、カーソルの位置に文字がなかった場合は、外字作成画面(手順4の画面)になります。そのまま手順5からはじめてください。

- 4 [実行]を押します。

- ①カーソル：点滅した「■」。ドット(点)の位置を示します。
- ②スケール：現在カーソルがどこにあるのかを示します。カーソルの動きに合わせて動きます。
- ③ドットを塗りつぶすときは1:黒となります。
- ④ドットを消すときは2:白となります。
- ⑤一筆書きのようにドットを連続して塗りつぶしたり消したりするときは連続となります。



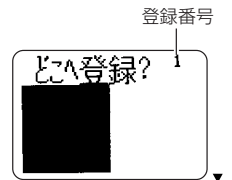
- 5 外字作成画面で外字を作成します。

カーソルを移動させるときは	◁▷◁▷を押します。
ドットを1つ塗りつぶすときは	カーソルを目的の位置まで移動し、[1] (黒)を押します。
ドットを1つ消すときは	塗りつぶされているドットまでカーソルを移動させ、[2] (白)を押します。
ドットを連続して塗りつぶすときは	[1] (黒)、[3] (連続)と押し、黒連続にして、カーソルを移動します。
ドットを連続して消すときは	[2] (白)、[3] (連続)と押し、白連続にして、カーソルを移動します。

- 斜め方向に連続してドットを塗りつぶしたり消したりすることはできません。斜め方向に塗りつぶしたり消したりするときは、1ドットずつ行ってください。
- 連続を解除するときは、もう一度[3]を押します。
- 「黒」のときに[1]を押すと「黒」に戻ります。
「白」のときに[2]を押すと「白」に戻ります。

外字を作成しているとき連続になっていない場合は、[機能] [5]でカーソルを画面の左右の端へ、[機能] [6]、[機能] [7]でカーソルを上下端へ、それぞれ移動することができます。

- 6 外字が完成したら、[実行]を押します。



- 7 ◁▷◁▷を押して、登録する場所を番号で選びます。

- すでに外字が登録されている番号を選ぶと、その外字が表示されます。

- 8 [実行]を押します。
「よろしいですか?」と表示されます。

- 9 [実行]を押します。

- 外字の登録されている番号を選んだとき、登録されている外字を消したい場合はそのまま[実行]を押します。消したくない場合は、[取消]を押して、登録番号を選び直します。

本機にある文字を利用して作る(参照作成)

文字の他に、記号や絵文字も利用することができます。(ローマ字入力→33ページ、記号→41ページ、絵文字→42ページ)

【例】 / → ↗

- 1 [6]を押して、「/」を画面に表示させます。

- 「め」が表示されたときは、ローマ字入力にしてから[6]を押してください。

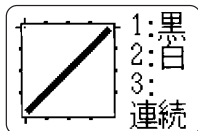
- 2 「/」にカーソルを合わせます。

3 と押しします。

4 を押しして**作成**にし、を押しします。


5 を押しして**参照作成**にし、を押しします。



外字作成画面に「/」が表示されます。(外字作成画面→46ページ)

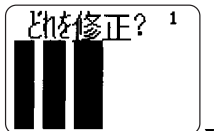




6 46ページの手順5からの操作を行ない、外字を作成し、登録します。

すでに作ってある外字を修正する

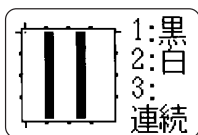
1 と押しします。

2 を押しして**修正**にし、を押しします。



3 を押しして、修正する外字を選び、を押しします。

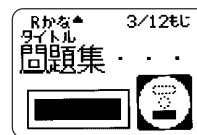
外字作成画面に、選んだ外字が表示されます。(外字作成画面→46ページ)




4 46ページの手順5からの操作を行ない、外字を修正し、登録します。

外字を使う

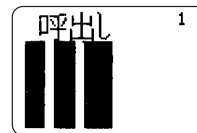
1 外字を入れたい位置にカーソルを合わせます。




2 と押しします。

3 を押しして**呼出し**にします。

4 を押しします。



5 を押しして、呼び出す外字を選びます。


6 を押しします。

外字マーク
外字が入力されていることを示します




• 呼出した外字を削除するときは、通常の文字と同じ方法で消します。

登録した外字を削除する

1 と押しします。

2 を押しして**削除**にし、を押しします。

3 を押しして、削除する外字を選びます。

4 を押しします。
「よろしいですか?」と表示されます。

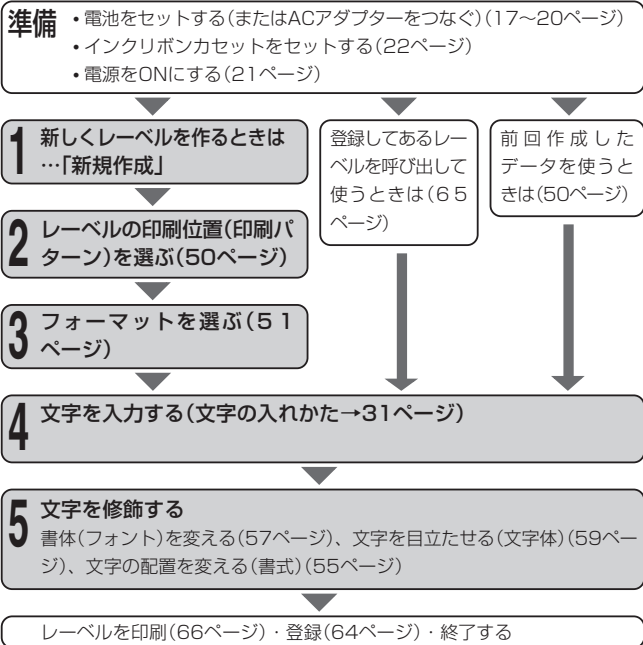
5 を押しします。
選んだ字が削除されます。

外字を文章の中で使っていたときに、登録元の外字を削除すると、文章の中の外字の入っていた位置は空白で印刷されます。

レーベル作成編について

レーベル作成編では、レイアウトを選んで文字やロゴを入れ、レーベルのデータを作る方法について詳しく説明しています。

レーベル作成の流れ



新しくレーベルを作る

新しく印刷パターンやフォーマットを選んでレーベルを作成する方法について説明します。

登録済みのレーベルを呼び出して使うときは→65ページ

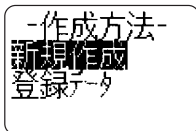
【例】



レーベル作成編

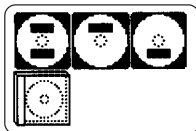
新しくレーベルを作る
レーベル作成編について

1 **ON**を押して、電源を入れます。



- 前回作成したレーベルデータが残っているときは、画面に「前回作成データ」が表示されます。
- 前回のデータを使いたいときは、**ON**を押して**前回作成データ**とし**実行**を押して呼び出します。
- 前回のデータを保存したいときは、上の方法でデータを呼び出して保存します(64ページ)。

2 **ON**を押して**新規作成**にし、**実行**を押します。
レーベルの印刷位置(印刷パターン)が表示されます。



レーベル作成編
新しくレーベルを作る

レーベルの印刷位置(印刷パターン)を選ぶ

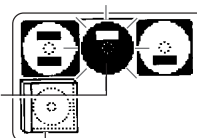
ディスク上でのレーベルの印刷位置を選びます。

印刷パターンの種類

印刷パターン	レーベル1	レーベル1	レーベル1
印字例	議事録 編集部	議事録・編集部	議事録・編集部

印刷パターンを設定する

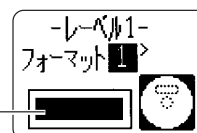
3 **ON**を押して、印刷パターンを選びます。



ここでは、このパターンを選びました

ディスクケースのタイトルラベル作成時に選びます。(74ページ)

4 **実行**を押します。



レーベルのフォーマット候補が表示されます

フォーマットを選ぶ

レーベル上での文字やロゴデータの配置、種類を決めます。

■フォーマットの種類

フォーマットは、用途や作りかたに応じて次の3種類に分けられます(各フォーマットの形や最大入力文字数については、「レーベルフォーマット一覧」(92ページ)をご覧ください)。

標準(1~18)…文字のみを入れることができます。

ロゴ付き(1~4)…文字と、内蔵ロゴマーク(14種類)またはパソコンから取り込んだ画像やイラストデータ(4種類)を入れることができます(内蔵ロゴマーク一覧→52ページ)。

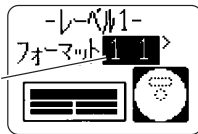
- ロゴ付きのフォーマットを選んだときは、「ロゴ付きのレーベルを印刷する」(52ページ)をご覧ください。

オートフォーマット(1~2)…行数と入力した文字数に応じて、自動的に文字の大きさが変わります(詳しくは54ページをご覧ください)。

■フォーマットを設定する

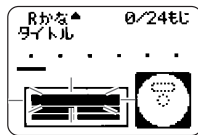
5 を押して、フォーマットを選びます。

ここではこのフォーマットを選びました。



6 **[実行]**を押します。

文字入力画面が表示されます。

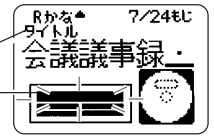


- レーベルが2カ所ある印刷パターンを選んだときは、手順 5 ~ 6 を再度行ってレーベル2のフォーマットを設定します。

7 文字を入力・確定します。

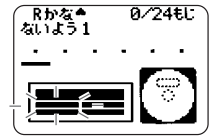
現在入力中の項目名が表示されます

現在入力中の項目が点滅します



- 文字の入れかたについては「文字入力編」(31ページ)をご覧ください。

8 **[実行]**を押します。



次の入力位置が点滅します

いろいろな文字にしたい

文字の入力中に、お好みで修飾することができます。

- 書体(フォント)を変える(57ページ)
- 文字を目立たせる(文字体)(59ページ)
- 文字の配置を変える(55ページ)

9 手順7~8と同様にして、各項目に文字を入力・確定します。

10 **[実行]**を押します。

これで、レーベルデータが完成しました。



- レーベルを印刷するときは→66ページ
- レーベルデータを登録するときは→64ページ
- 終了するときは、を押して**終了**にし、**[実行]**を2回押してください。

ロゴ付きのレーベルを印刷する

14種類の内蔵ロゴデータと、パソコンから取り込んだ画像やイラストデータ(4種類まで登録できます)を使って、きれいでわかりやすいレーベルを作ることができます。

重要! パソコンから画像やイラストデータを取り込む方法については、72ページをご覧ください。

内蔵ロゴデータの種類



ロゴ付きレーベルの印刷例

印字例	
1	
2	
3	
4	

■ロゴデータの印刷倍率について

フォーマットとの組み合わせによって、印刷されるロゴデータは下の倍率で印刷されます。

フォーマット	内蔵ロゴデータ	パソコンから取り込んだ画像・イラスト	
		LONGタイプ (ユーザー1(L) ユーザー2(L))	SHORTタイプ (ユーザー3(S) ユーザー4(S))
ロゴ1	1	1	1
ロゴ2	1/2	1/2	1
ロゴ3	1/2	1/2	1
ロゴ4	1/2	1/2	1

ロゴ付きのレーベルを作る

ロゴ付きレーベルは、フォーマット選択画面でロゴ付きフォーマットを指定して作成します(51ページ)。

- 1 を押して、「ロゴ1」～「ロゴ4」のどれかを選びます。



- 2 **[実行]**を押します。



- 3 を押して、印刷したいロゴデータを選びます。



- 4 **[実行]**を選びます。

これで、ロゴデータが設定されました。文字の入るフォーマットでは、この後必要に応じて文字を入力し、標準のレーベルと同じに印刷します。

- ロゴ2～4のフォーマットでユーザー1(L)またはユーザー2(L)を印刷しようとした時は「ロゴデータを縮小して印刷しますがよろしいでしょうか? 実行/取消」というメッセージが表示されます。縮小していい場合は**[実行]**を押して印刷してください。

縮小しない場合は**[取消]**を押して印刷を中止します。ロゴ1のフォーマットを選ぶが、ユーザー3(S)またはユーザー4(S)を選んでレーベルを作成し直してください。

最適な大きさの文字を印刷する

入力された文字数に応じて、自動で最適な大きさの文字を印刷することができます(オートフォーマット)。

入力文字数と印刷サイズ

オートフォーマットに指定すると、文字サイズは3～15mmの間を入力文字数に応じて下のように入ります。

入力文字数	オート1 (1行用)		オート2 (2行用)	
	表示(倍率)	印刷サイズ	表示(倍率)	印刷サイズ
0～9	×5	15mm	×2	6mm
10～12	×4	12mm	×2	6mm
13～16	×3	9mm	×2	6mm
17～24	×2	6mm	×2	6mm
25～49	×1	3mm	×1	3mm

オートフォーマットでデータを作る

オートフォーマットは、フォーマット選択画面で「オート1」または「オート2」を選んで作成します(フォーマットを選ぶ→51ページ)。

- 1 を押して、「オート1」または「オート2」のどちらかを選びます。
 - ・「オート1」：1行用
 - ・「オート2」：2行用



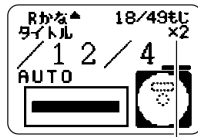
- 2 **実行** を押します。

文字の倍率(サイズ)



オートフォーマットが選択されているとき表示されます

- 3 文字を入力します。



入力文字数に合わせて、倍率が変化します

- 4 **実行** を押し、標準のレーベルと同じに印刷します。

文字のバランスを整える

文字のバランスを整えることができます(文字割付)。

文字割付の種類

文字のバランスを決めることができます。文字の入力中に設定します。

中寄せ



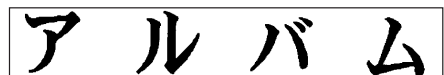
右寄せ



左寄せ



均等



文字割付を設定する

- 1 文字を入力・確定します。

- 2 **機能** と押します。



レーベル作成編

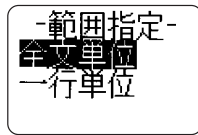
文字のバランスを整える
最適な大きさの文字を印刷する

- 3 文字割付になっていることを確認し、**実行** を押します。

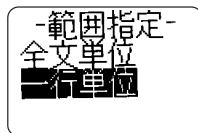


- 4 を押して、割付の種類を選びます。
 を押すたびに、**右寄せ** **左寄せ** **均等** **中寄せ** と割付の種類が変わります。

- 5 **実行** を押します。



- 6 を押して設定の範囲を選びます。
 - ・全文単位…フォーマット単位で設定されます。
 - ・一行単位…項目単位で設定されます。



- 7 **実行** を押します。
文字入力画面に戻ります。

英数字を美しく割り付ける

アルファベット・数字を、最適な間隔で割り付けることができます(プロポーショナル)。

プロポーショナルの設定と内容は以下の通りです。

- ON : アルファベット・数字に適した文字ピッチに調整する
 - OFF : アルファベット・数字の文字ピッチが、かな・漢字まじりの文章に適した文字ピッチになる
- ・本機では、新規作成時は「ON」に設定されています。

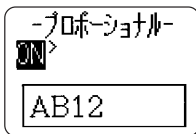
種類	印字例
ON	File006
OFF	F i l e 0 0 6

レーベル作成編
英数字を美しく割り付ける
文字のバランスを整える

1 文字を入力・確定し、と押し
ます。



2 を押して**プロポーション**にし、
を押します。



3 を押して**ON**にし、を押
します。
文字入力画面に戻ります。

書体(フォント)を変える

文字の形(書体)を、和文2書体・欧文6書体の中から選ぶことができます。
・電源を入れたときの書体を決めておくときは、「書体を変えたい」(81
ページ)をご覧ください。

和文書体

明朝体	ゴシック体
亜あ	亜あ

欧文書体

明朝体	ゴシック体
AB12	AB12
ステンシル	ポップ
AB12	AB12
ボールドスク립ト	ブラックレター
AB12	AB12

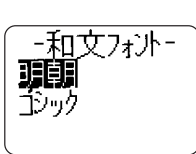
レベル作成編
書体(フォント)を変える
英数字を美しく割り付ける

- ・欧文書体は、次の文字が指定の対象になります。
 - ・アルファベット(A~Z a~z) ・数字(1234567890)
 - ・記号の一部(, . ? ! ~ () ¥ % スペース)

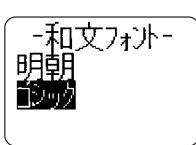
【例】ヒーリングMUSIC集


(「ヒーリング」「集」をゴシックに、「MUSIC」をボールドス
クリプトにする)

1 文字を入力・確定し、と押し
ます。




2 を押して**ゴシック**にします。




3 を押します。




4 を押して、**A ボールドスク립ト**にし
ます。




5 を押します。



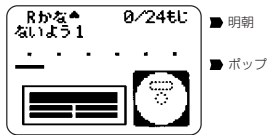
6 を押して設定の範囲を選びます。
・全文単位…フォーマット単位で設定されます。
・一行単位…項目単位で設定されます。



7 を押します。
文字入力画面に戻ります。

画面表示について

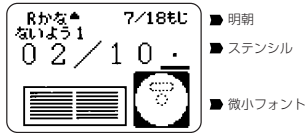
- 入力中の項目の書体を■で示します。



- 欧文書体は各書体ごとに大きさ、バランスが設定されていますので、混在させる場合には、バランスにご注意ください。

微小フォントについて

サイズが2mmの文字は、フォントの指定に関わらず微小フォントで印刷されます。このとき、画面右下に「微小フォント」の■が点灯します。



- 微小印刷の文字には、次のような特徴があります。
- フォントの設定は無効です。(すべて同じフォントで印刷されます)
- プロポーショナルの設定は無効です。
- 文字体を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- 絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

文字を目立たせる

文字を太字にして目立たせることができます(文字体)。

※ 絵文字・外字は、文字体の指定はできません。

標準

太字

住所録 住所録

- 1 文字を入力・確定し、**機能** と押し
ます。

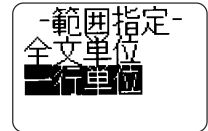


- 2 を押して**A太字**にして、**実行** を
押しします。



- **A標準**を選ぶと、指定済みの文字体を通常
の文字に戻すことができます。

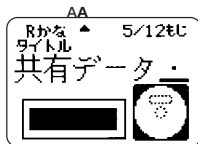
- 3 を押して設定の範囲を選びます。
• 全文単位…フォーマット単位で設定されます。
• 一行単位…項目単位で設定されます。



- 4 **実行** を押しします。
文字入力画面に戻ります。

レベル作成編

文字を目立たせる
書体(フォント)を変える



画面上の「A」(標準)または「A」(太字)に▲がつきます。

よく使う語句を登録する

よく使う単語や文章を登録しておき、文字の入力中に呼び出して挿入することができます(プリセットタイトル)。

- 最大49文字の語句を9種類まで登録できます。
- お買い上げの状態では、以下の8種類の語句が登録されています(1種類は未登録)。修正や書き換えが可能です。

1. 保存資料
2. BACKUP DATA 作成日 月 日
3. デジタルアルバム
4. 撮影日 月 日
5. BEST ALBUM
6. オムニバス
7. http://
8. E-mail:
9. (未登録)

プリセットタイトルを呼び出す

文字を入力中に、プリセットタイトルを呼び出して挿入します。

- 1 **プリセットタイトル** を押しします。
登録されている語句が表示されます。



レベル作成編

よく使う語句を登録する
文字を目立たせる

2 **△▽**を押して、挿入したい語句を選び、**実行**を押します。



- 項目に入力できる最大文字数を超えるときは、超過した文字は挿入されず、「文字数オーバー 呼出しできなかった文字があります」と表示されます。
- 「1」～「9」の数字キーでも呼び出すことができます。

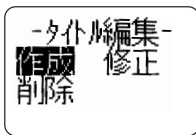
新しくプリセットタイトルを作る

文字を入力してプリセットタイトルを作り、登録します。

1 **プリセットタイトル**を押します。



2 **△▽**を押して**タイトル編集**にし、**実行**を押します。

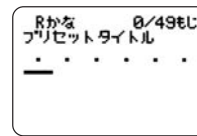


3 **作成**になっていることを確認し、**実行**を押します。

文字入力エリアに文字が無いときは、手順4の画面が表示されます。



4 **△▽**を押して語句の作りかたを選び、**実行**を押します。

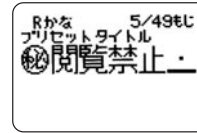


- 新規(新規作成)と参照(参照作成)から選びます。
- 新規作成…最初から文字を入力して作ります。
 - 参照作成…入力中の文字をベースに作ります。(62ページ)

■新規作成する

5 文字を入力します。

- 記号、絵文字、外字も使うことができます。
- 書体、文字体、書式を指定することはできません。

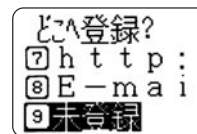


6 **実行**を押します。

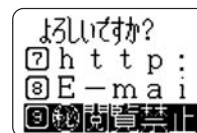
番号が反転しているときは、そのプリセットタイトルにはデータが入っていません。



7 **△▽**を押して登録する場所を選びます。



8 **実行**を押します。
「よろしいですか?」と表示されます。



レベル作成編
よく使う語句を登録する

9 **実行**を押します。
これで登録は完了です。

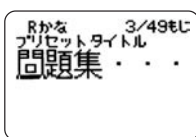
- 別の場所に登録したいときは、**取消**を押します。

■参照作成する

前ページの手順4で「参照作成」を選ぶと、入力中の文字が画面に表示されます。

5 文字を入力・修正します。

これ以降の操作は、「新規作成する」(61ページ)の手順5～9を参照してください。



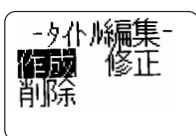
プリセットタイトルを修正する

登録したプリセットタイトルを、呼び出して修正します。

1 **プリセットタイトル**を押します。



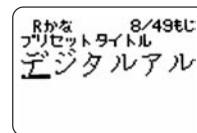
2 **△▽**を押して**タイトル編集**にし、**実行**を押します。



3 **△▽△▽**を押して**修正**にし、**実行**を押します。



4 **△▽**を押して修正する語句を選び、**実行**を押します。



5 語句を修正し、**実行**を押します。



6 **△▽**を押して登録する場所を選び、**実行**を押します。
「よろしいですか?」と表示されます。

7 **実行**を押します。
これで修正は完了です。

- 別の場所に登録したいときは、**取消**を押します。

レベル作成編
よく使う語句を登録する

プリセットタイトルを削除する

登録したプリセットタイトルを削除します。

- 1 **プリセットタイトル**を押します。
- 2 **△▽**を押して**[タイトル編集]**にし、**実行**を押します。
- 3 **△▽⊙**を押して**削除**にし、**実行**を押します。



- 4 **△▽**を押して削除する語句を選び、**実行**を押します。



- 5 **実行**を押します。
削除されたプリセットタイトルの欄は「未登録」になります。



• 別の語句を削除したいときは、**取消**を押します。

印刷結果を画面で見る

作成したレーベルがどのように印刷されるのかを、印刷する前に画面で見ることができます(プレビュー表示)。

- 1 レーベルの内容を作成します。

- 2 **印刷プレビュー**を押します。

レーベルがどのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます



• 文字入力終了後のメニュー画面で**印刷プレビュー**を押したときはディスクの上下2カ所にレーベルがあるときは、表示レーベルを選ぶ画面が表示されます。**⊙**を押してレーベルを選び、**実行**を押してください。

- 3 じっくりと見たい部分が流れてきたら、**実行**を押します。

実行を押したところで画面が止まります



- 続きを見たいときは、**実行**を押すと再びプレビュー画面が流れます。
- **実行**で画面が停止しているとき、**⊙**または**⊙**を押すと、コマ送りですぐにプレビュー画面をスクロールさせることができます。
- プレビュー表示を中止するときは**取消**を押します。
- 細い線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されない場合があります。
- 文字数が多いレーベル、行数が多いフォーマットを選んだときには、プレビュー表示されるまでに時間がかかる場合があります。

レーベル作成編

印刷結果を画面で見るとよく使う語句を登録する

レーベルを登録する・呼び出す

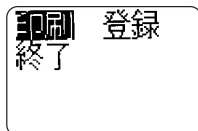
本機で作成したレーベルをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。

登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うレーベルを作ることもできます。

レーベルを登録する

文字の入力が終了した後、レーベルデータに登録名をつけて登録します。

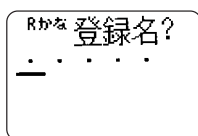
文字の入力が終わるとこの画面になります



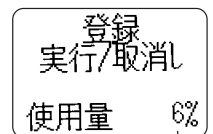
- 1 **△▽⊙**を押して、**登録**にします。



- 2 **実行**を押します。



- 3 登録名を入力・確定し、**実行**を押します。



すでに登録されているレーベルがどのくらいあるかを示します

• 登録名は5文字まで入力できます。

- 4 **実行**を押します。
「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

登録名

本機に記憶させるときは、作成したレーベルに名前(登録名)をつけます。これは、あとでレーベルの内容を呼び出すときに、名前で探すためです。

レーベルを呼び出す

登録したレーベルの内容を呼び出します。
作成方法画面(レーベル作成の最初の画面)で「登録データ」を選んで呼び出します。作成方法画面は、電源を切った後、電源を入れると表示されます。

1 (A)(V)を押して**登録データ**にします。



2 [実行]を押します。

3 **呼出し**になっていることを確認して [実行]を押します。

登録名が表示されます



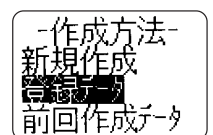
4 (A)(V)を押して、呼び出したいレーベルの登録名を探し、[実行]を押します。
レーベルの内容が呼び出されます。
必要に応じて、修正したり印刷したりします。



登録したレーベルを削除する

登録したレーベルを削除することができます。
作成方法画面(レーベル作成の最初の画面)で「登録データ」を選んで削除します。

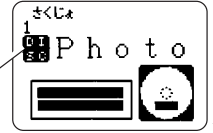
1 (A)(V)を押して**登録データ**にします。



2 [実行]を押します。

3 (D)を押して**削除**にし、[実行]を押します。

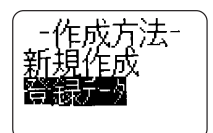
登録名が表示されます



4 (A)(V)を押して、削除したいレーベルの登録名を探し、[実行]を押します。
「よろしいですか?」と表示されます。

5 [実行]を押します。

- 他に登録文章があるときは、その登録名が表示されます。引き続き、削除することができます。



レーベルを印刷する

作成したレーベルデータを、本機で印刷します。

- 重要!**
- 市販のディスクに印刷する場合は付属の「推奨メディア一覧」をご参照ください。
 - 本機が破損する原因となるため、シングルCD-Rや名刺サイズのCD-RIには印刷できません。
印刷できるのは、直径12cmのディスクだけです。
 - 本機を使用したディスクへの印刷は、ディスクにデータを記録する前に行われることをお勧めします。すでにデータが記録されているディスクに印刷した場合、データ破損の補償は致しません。

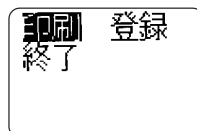
印刷の準備

- 重要!**
- 印刷前に、次のことを確認してください。
 - 本機に乾電池が正しくセットされていますか?または本機とご家庭用のコンセントが確実に接続されていますか?(17ページ)
 - インクリボンカセットがセットされていますか?(22ページ)

印刷位置が1カ所のレーベルを印刷する

印刷パターンが または のレーベルを印刷します。

文字の入力が終わるとこの画面になります。



1 (A)(V)(D)(D)を押して**印刷**にし、[実行]を押します。

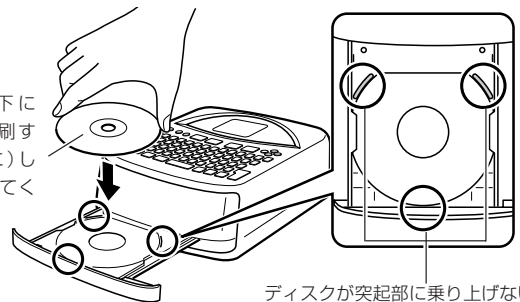
ディスクトレイが少し飛び出します。ゆっくりと引き出してください。



- 「設定」の「トレイ設定」で、「手動で開ける」が選択されているときは、トレイは自動的に開きません。「自動で開ける」を選ぶか、本体上部の (A) を押してください。(16ページ)
- (D) を選んだときは、画面に「下側を手前にセットし[実行]」と表示されます。

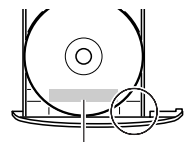
2 印刷するディスクをディスクトレイにセットします。

記録面を下に(文字を印刷する面を上)にしてセットしてください。



ディスクが突起部に乗り上げないようにセットしてください。

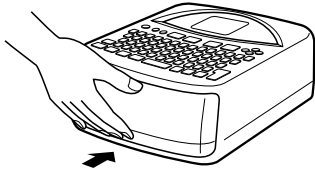
印刷レイアウトと印刷方向を確認してからディスクをセットしてください。(詳しくは69ページをご覧ください)



目安線に囲まれた部分に印刷されます

- 重要** ・ディスクトレイやディスクに異物・ごみ等がついていないことを確認してください。ごみ等がついたままセットすると、記録面に傷がついてデータの書き込みができなくなることがあります。
- ・表裏を逆にセットすると、記録面に印刷され、データの書き込みができなくなります。

3 ディスクトレイを閉めます。
ディスクトレイはカチッと音がするまで押し込んでください。



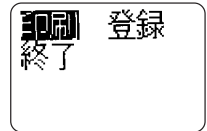
4 **実行** を押します。
印刷が始まります。

印刷が終了すると最初の画面に戻り、ディスクトレイが少し飛び出します。ディスクトレイをゆっくりと引き出し、ディスクを取り出してください。

印刷位置が上下2カ所のレーベルを印刷する

印刷パターンが のレーベルを印刷します。

文字の入力が終わるとこの画面になります。



1 を押して**印刷**にし、**実行** を押します。



2 **実行** を押します。

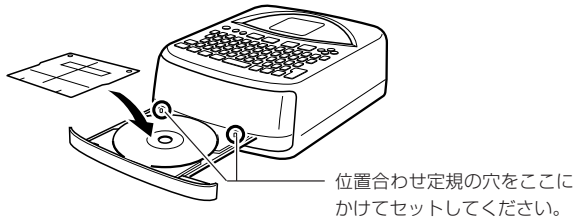
- ・「設定」の「トレイ設定」で、「手動で開ける」が選択されているときは、トレイは自動的には開きません。「自動で開ける」を選ぶか、本体上部の を押してください。(16ページ)



3 印刷するディスクをディスクトレイにセットします。

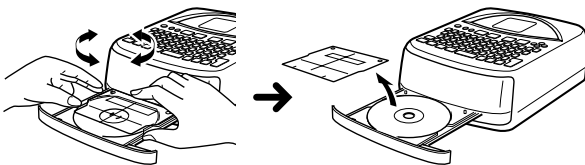
- ・ディスクのセットのしかたについては、「印刷位置が1カ所のレーベルを印刷する」(66ページ)の手順2をご覧ください。

4 位置合わせ用定規を本機にセットします。



- ・印刷位置が無地のディスクを使用する場合、手順 4～5 の操作は必要ありません。

5 ディスクの位置を合わせたあと、位置合わせ用定規を取り外します。



ディスクトレイの目安線を見てセットしてください。

- ・ロゴ等をさけて位置を合わせてください。詳しくは69ページの「ディスクのセットのしかた」をご覧ください。

重要 位置合わせ用定規は、印刷する前に必ず取り外してください。

6 ディスクトレイを閉めます。
ディスクトレイはカチッと音がするまで押し込んでください。



7 **実行** を押します。
レーベル1の印刷が始まります。

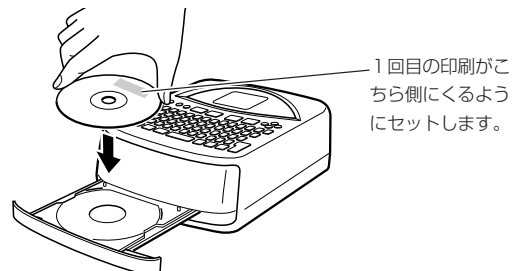
印刷が終了すると右の画面が表示され、ディスクトレイが少し飛び出します。ゆっくりと引き出してください。



8 **実行** を押します。



9 ディスクを取り出し、180° 回転させてセットします。



- ・ディスクのセットのしかたについては、「ディスクのセットのしかた」(69ページ)をご覧ください。

10 手順4、5と同様にディスクの位置を合わせ、ディスクトレイを手で閉めます。

- 詳しくは、「ディスクのセットのしかた」をご覧ください

11 **実行**を押します。

レーベル2の印刷が始まります。

⋮

印刷が終了すると最初の画面に戻り、ディスクトレイが少し飛び出します。ディスクトレイをゆっくと引き出し、ディスクを取り出してください。

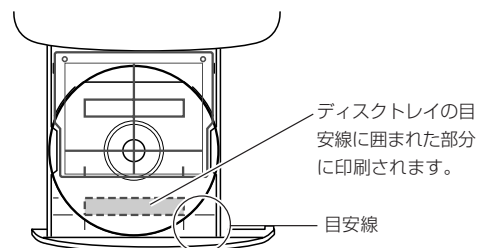
ディスクのセットのしかた

次の場合は、位置合わせ用定規を使用してディスクをセットしてください。

- ロゴ等、ディスク面に印刷済みの文字がある場合
- ディスクの上部・下部両方に印刷する場合

ロゴ等、ディスク面に印刷済みの文字がある場合

ロゴ等の部分には印刷することができません。アミの部分に、ロゴ等が入らないようにディスクをセットしてください。



ディスクの上部・下部両方に印刷する場合

2回目(レーベル2)の印刷を行うときは、ディスクを180°回転させてセットしたあと、アミの部分に1回目(レーベル1)に印刷した部分がきれいに入るように微調整してください。

